作成日　1997年03月24日
改訂日　2015年01月05日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ホクコー フェスティバルC水和剤
整理番号	1332-12
会社名	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	環境安全部
電話番号	03-3279-5831
緊急連絡電話番号	03-3279-5831
FAX番号	03-3279-5195
推奨用途及び使用上の制限	農業用殺菌剤 農薬登録以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4
	急性毒性(経皮) 区分外
	皮膚腐食性／刺激性 区分外
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2A
	(400倍希釈液では、区分外)
	皮膚感作性 区分外
	発がん性 区分1A
	特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(呼吸器系 腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性) 区分1
	上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
シンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H302　飲み込むと有害
	H319　強い眼刺激
	H350　発がんのおそれ
	H370　呼吸器系の障害
	H372　長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
	H400　水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策　使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)
保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

応急措置　飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P301+P312)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露した場合、医師に連絡すること。(P307+P311)
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
漏出物は回収すること。(P391)

保管　施錠して保管すること。(P405)

廃棄　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物

一般名　ジメトモルフ・銅水和剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
(E,Z)-4-[3-(4-クロロフェニル)-3-(3,4-ジメトキシフェニル)アクリロイル]モルホリン（別名　ジメトモルフ）	15.0%	$C_{21}H_{22}ClNO_4$			110488-70-5
塩基性塩化銅	58.8%	$CuCl_2$・3 $Cu(OH)_2$			1332-65-6

（銅として）	（35.0%）				
非晶質シリカ	6.5%				112926-00-8
石英ー結晶質シリカ	12.0%	SiO_2	(1)-548		14808-60-7
ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル	1.5%		(7)-172		9016-45-9
鉱物質微粉、界面活性剤等	6.2%				

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　　情報なし

4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、安静にし、保温する。
必要な場合は医師の手当て、診断を受ける。

皮膚に付着した場合
速やかに多量の水および石鹸で洗い流す。
必要な場合は医師の手当て、診断を受ける。

目に入った場合
直ちに清浄な水で眼を洗浄し、医師の手当て、診断を受ける。

飲み込んだ場合
直ちに医師の手当て、診断を受ける。
口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤
粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂など。

使ってはならない消火剤
情報なし

特有の危険有害性
火災時に有害ガスが発生するおそれがある。

特有の消火方法
消火作業は風上から行う。
火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。
周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行なう。

消火を行う者の保護
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

		作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、飛沫、粉塵、ミスト、ガスなどによる眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項		河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収・中和並びに封じ込め及び浄化方法・機材		飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策		特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
	注意事項	容器を転倒、落下させ、衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。 全体換気の設備がある場所で取扱う。
	安全取扱い注意事項	取扱う前には必ずラベルを良く読むこと。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 取扱い中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼に入れないこと。 取扱い後は手足・顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換すること。 取扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯すること。
保管	技術的対策	特に技術的対策は必要としない。
	混触危険物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。
	保管条件	直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密封して保管すること。
	容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		
	日本産衛学会(2009年版)	吸入性結晶質シリカ　0. 03mg／m^3
	ACGIH(2010年版)	TWA　0. 025 mg／m^3 (石英)

設備対策		取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸器の保護具	防じんマスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼の保護具	側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	長袖の作業衣・長靴
衛生対策		取扱い後は手足、顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換すること。 取扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	水和性粉末
	色	淡緑色
	pH	7.9(×5)
見掛け比重		0.26

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット LD_{50}	雄 2,800 mg／kg 雌 2,000 mg／kg
		マウス LD_{50}	雄 1,100 mg／kg 雌 2,200 ～ 3,800 mg／kg
	経皮	ラット LD_{50}	雄 >2,000 mg／kg 雌 >2,000 mg／kg
皮膚刺激性		ウサギ	陰性
眼刺激性		ウサギ	中等度の刺激性 400倍希釈液は刺激性なし
皮膚感作性		モルモット	陰性

発がん性		混合物の成分の発がん性－区分1Aの濃度が12%のため発がん性－区分1Aとした。
特定標的臓器毒性(単回暴露)		混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回暴露)－区分1(呼吸器系)の濃度が12%のため特定標的臓器毒性(単回暴露)－区分1(呼吸器系)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)		混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復暴露)－区分1(呼吸器系)の濃度が12%のため特定標的臓器毒性(反復暴露)－区分1(呼吸器系)とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復暴露)－区分1(腎臓)の濃度が12%のため特定標的臓器毒性(反復暴露)－区分1(腎臓)とした。

12. 環境影響情報

生態毒性	魚毒性	コイ	LC_{50} (96h)	1.1 mg/L
		オオミジンコ	EC_{50} (48h)	0.45 mg/L
		藻類生長阻害試験(緑藻)	EbC_{50} (0−72h)	0.026 mg/L
			ErC_{50} (0−72h)	0.18 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄に当たっては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制		
	国連分類	9
	国連番号	3077
	品名(国際輸送品名)	環境有害物質(固体)
	容器等級	Ⅲ
	海洋汚染物質	該当
国内規制		該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件		輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なう。
緊急時応急措置指針番号		171

15. 適用法令

農薬取締法　ホクコー フェスティバルC水和剤
登録番号 19510号

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)　第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル
政令番号:410

労働安全衛生法　名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

シリカ　政令番号:312

銅及びその化合物　政令番号:379

16. その他の情報

連絡先

会社名　北興化学工業株式会社

担当部門　環境安全部

電話番号　03-3279-5831

FAX番号　03-3279-5195

中毒に関する緊急問合せ先　公益財団法人　日本中毒情報センター

中毒100番	一般市民専用電話 (情報提供料:無料)	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日、24時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9～21時)	029-852-9999	029-851-9999

記載内容は現時点での情報、データをもとに作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは、製品を安全に取扱うための情報を提供するものであって、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関して保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。